

第二種奨学金貸与月額変更願(届)(減額)

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与月額を下記のとおり減額することを願ひ出ます。
つきましては、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容から、貸与月額の減額に係る一切の債務に関しても、
確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入のうえ学校に提出してください。※1～4については記入要領を確認しながら記入してください。

奨 学 生 番 号				学籍番号	提出日		西暦 20 年 月 日	
8		0			※1		生年月日 西暦 年 月 日 (満 歳)	
学校名				学年	年	フリガナ		
学部・学科 (課程・研究科)						氏 名 (自署) ※2		

■ 月額変更 (「第二種奨学金の貸与月額」を参照して記入してください。)

希 望 す る 減 額 始 期	西暦	2	0		年		月	から	※①本願出を学校へ提出した月が属する年度の4月(当該年度採用者で貸与開始月が5月以降の場合は貸与開始月)以降かつ年度内の月を記入 ※②年度内精算が可能な範囲内に限ります。	
※3										
従 前 の 奨 学 金 月 額					円	希 望 す る 奨 学 金 月 額				円
変 更 す る 理 由										

※スカラPSからも第二種奨学金月額変更(減額)の願い出が可能です。
(遡った減額始期を希望する場合を除く)
スカラPSから願い出た場合、本願出の提出は不要です。
詳しくは機構HPを確認してください。



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/todokede/getsugaku.html#tetuduki>

上記願出を適当と認めます。

20 年 月 日

学 校 名 京都工芸繊維大学
学生支援・社会連携課

関係課長 (※)

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

●学校記入欄(必須)

返還誓約書機構 提出 ☒ を記入)		☐	提出済
電話番号(担当者名)		学校番号	区分
075 - 724 - 7143		106004	00
()			

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

■ 第二種奨学金の貸与月額

(大学院以外)

貸与月額	20,000円	30,000円	40,000円	50,000円	60,000円
	70,000円	80,000円	90,000円	100,000円	110,000円
	120,000円				

私立大学の医・歯学課程及び薬学・獣医学課程の場合は、下記貸与月額への変更も可能

私立大学増額貸与 医・歯学課程	160,000円	貸与月額最高額（120,000円）＋増額（40,000円）
私立大学増額貸与 薬学・獣医学課程	140,000円	貸与月額最高額（120,000円）＋増額（20,000円）

(大学院)

貸与月額	50,000円	80,000円	100,000円	130,000円	150,000円
------	---------	---------	----------	----------	----------

法科大学院の場合は、下記貸与月額への変更も可能

法科大学院 増額貸与	190,000円	貸与月額最高額（150,000円）＋増額（40,000円）
	220,000円	貸与月額最高額（150,000円）＋増額（70,000円）

[様式 2-4]

第二種奨学金貸与月額変更願(届)(減額)

貸与

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構奨学金の貸与月額を下記のとおり減額することを願います。

つきましては、返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容から、貸与月額の減額に確認書並びに返還誓約書(兼個人情報情報の取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規程に定める取扱いに従うことを誓約します。

記入例

太枠線内及び必要事項は正確に、もれなく記入のうえ学校に提出してください。※1～4については記入要領を確認しながら記入してください。

奨 学 生 番 号										学籍番号	ABCXXX	提出日	西暦 20 25 年 10 月 3 日
8	2	X	0	X	X	X	X	X	X			生年月日	西暦 2004 年 10 月 1 日 (満 20 歳)
学校名		学生支援大学								学年	3 年	フリガナ	ショウガク タウ
学部・学科 (課程・研究科)		経営学部										氏 名 (自署)	奨学 太郎

■ 月額変更 (「第二種奨学金の貸与月額」を参照して記入してください。)

希望する減額始期	※3	西暦	2	0	2	5	年	6	月	から	※①本願出を学校へ提出した月が属する年度の4月(当該年度採用者で貸与開始月が5月以降の場合は貸与開始月)以降かつ年度内の月を記入 ※②年度内精算が可能な範囲内に限ります。			
従前の奨学金月額	1	1	0	0	0	0	円	希望する奨学金月額	6	0	0	0	0	円
変 更		第二種奨学金の貸与月額を減額したい場合は、原則スカラPSを通じて願ひ出てください。その場合紙の書類(様式2-4)の提出は不要となります。ただし過去の振込みに遡って減額したい場合は様式2-4で手続きが必要です。												

訂正が必要な箇所は修正テープを使ったり、上からなぞり書きしたりせず、二重線を引いて直近余白に正しく記入してください。

※スカラPSからも第二種奨学金月額変更(減額)の願ひ出が可能です。(遡った減額始期を希望する場合を除く)
スカラPSから願ひ出た場合、本願出の提出は不要です。
詳しくは機構HPを確認してください。



<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/todokede/getsugaku.html#tetuduki>

【遡って減額した場合の調整例】

(本例では年度内精算が可能かつ11月反映の提出期限までに不備のない状態で機構に届いた場合を想定しています)

これまで月額110,000円が振り込まれていたところ、6月に遡って110,000円から60,000円への減額を希望。
6月から10月までの5か月間、毎月差額50,000円、計250,000円の振込超過が発生している状態。

年度内までに精算できる期間は、11月から3月までの5か月間です。
年度内に精算できる上限金額は6万円×5か月で30万円です。

6月	7月	8月	9月	10月	11万円×5ヵ月 =55万円					
11万円	11万円	11万円	11万円	11万円						

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
6万円	6万円	6万円	6万円	6万円	6万円	6万円	6万円	6万円	6万円	
11万円	11万円	11万円	11万円	11万円	5万円	0円	0円	0円	0円	6万円

減額始期: 6月

振込反映月: 11月

6万円×5ヵ月=30万円
(振込超過=25万円)

30万円-25万円=5万円
(11月振込分)

6万円×5ヵ月=30万円
(12月～3月は振込なし)

この場合、まず11月には50,000円が振り込まれ、12月から3月までの4か月間は振込が一時的に止まり、年度末の適格認定にて継続(警告)の場合、新年度4月から希望の60,000円で振込みが再開される。
(年度内の3月をもって振込超過分の精算が完了したため、4月から希望月額での振込になります。)

※年度内に振込超過分の精算ができない減額は受け付けられません。希望月額・減額始期を見直してください。

記入要領

第二種奨学金・減額

■願出全体にかかる注意事項

		□チェック	【よくある不備】
記入	○黒又は青のボールペンで記入していますか。	☐	×消せるボールペンや、時間の経過により字が消えるボールペンで記入している
訂正方法	○誤記入を訂正する場合は以下のとおり訂正していますか。(訂正印は不要) ①訂正箇所全体に二重線を引く。 ②訂正箇所の直近余白にはっきりと読み取れるように書き直す。	(該当者のみ) ☐	×修正液や修正テープで訂正している ×塗りつぶし、なぞり書きで訂正している

■奨学生本人の情報

		□チェック	【よくある不備】
※1 提出日	○学校に願出を提出する日を記入していますか。 返還誓約書を学校が機構指定送付先へ発送した日以降でないと「月額変更願」の提出はできません。	☐	×返還誓約書提出前の日付を記入している
※2 本人署名	○奨学生本人が願出に直接署名していますか。	☐	×印字されている ×願出コピーやPDFを提出 ×連帯保証人および保証人と同一筆跡

■月額変更

		□チェック	【よくある不備】
※3 減額始期	○以下①②両方を満たす、選択可能な減額始期の中から正しく記入していますか。 ①本願出を学校へ提出した月が属する年度の4月(当該年度採用者で貸与開始月が5月以降の場合は貸与開始月)以降かつ年度内の年月 ②年度内精算が可能な範囲内の年月	☐	×前年度以前の年月を記入
※4 希望する奨学金月額	○選択可能月額の中から記入していますか。 選択可能な月額が不明の場合は、「第二種奨学金の貸与月額」を確認してください。	☐	×「10,000円」と記入

記入が必要な事項に漏れ等があった場合は、振込みが遅れる場合があります。

提出前に再確認を行いましょう。